

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和7年度）
研究開発課題名	注射に代わる非侵襲性次世代経皮吸収送達技術に関する研究
代表機関名	九州大学
研究開発代表者名	後藤 雅宏

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、課題間連携を通じて核酸、ペプチド、抗体等の多様な創薬シーズの経皮製剤化に取り組み、S/O 技術の最適化と高度化を着実に進展させた。さらに、全身薬物動態の評価を行い、本技術の有用性を検証した点は評価できる。その結果、注射剤に代わる非侵襲的な経皮 DDS の実現可能性を実証した。

今後は、実用化・社会実装に向けて、本技術の分子機構をより明確化するとともに、注射剤との比較に基づく優位性及び課題を整理し、技術導出や共同研究が進展することを望む。さらに、臨床研究への発展を通じて、本技術の価値が実証されていくことを期待する。

以上